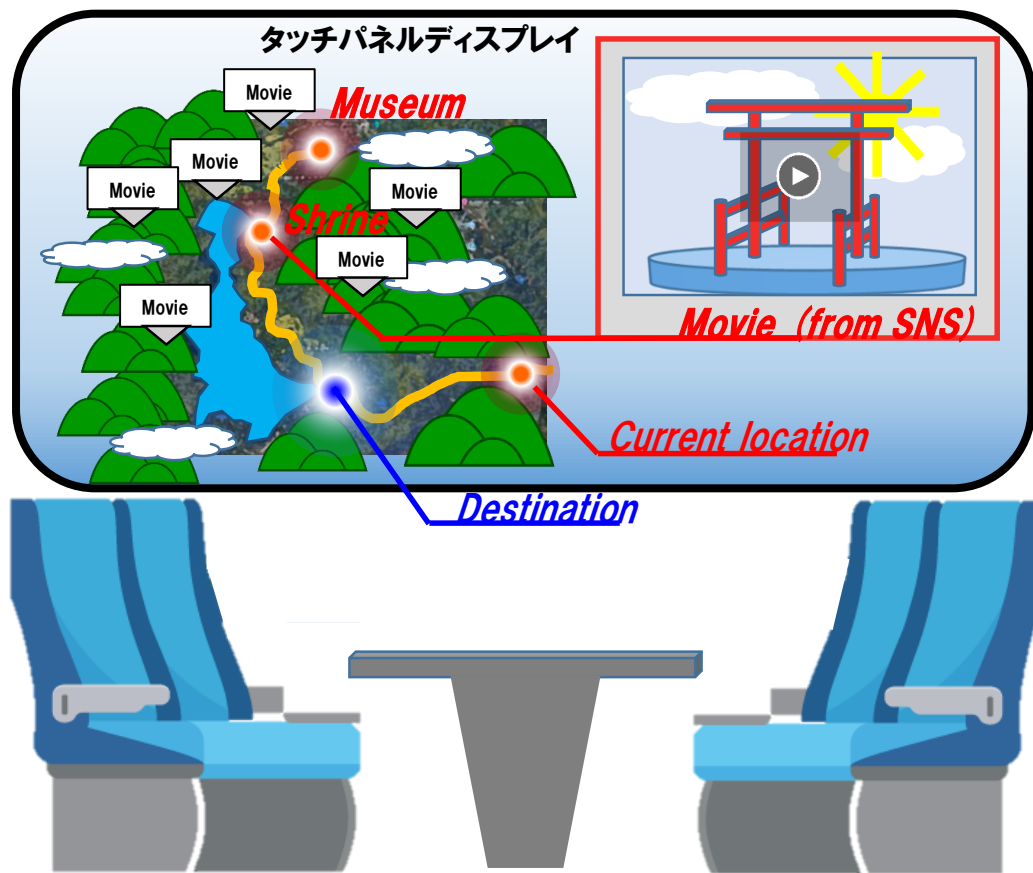


将来の自動運転・コネクテッドカー社会を想定したスマートな観光体験を提案

- 透過型タッチパネルで地図を表示、現地のリアルタイム動画やC-V2X※1連携による観光案内・提案と自動運転車による輸送
- SNSなどのリアルタイム情報(口コミ)なども地図上に表示
- C-V2X間での3Dチャットを活用した観光情報の共有



提供価値

構想/研究段階

- 将来の自動運転・コネクテッドカー社会では、MaaS※2の普及が想定されている。MaaS利用者は運転の必要がなくなり、長時間車内の閉空間で過ごすことが見込まれ、車内空間の有効利用が重要となってくる。
- その一環として観光情報に基づいたルート提案システムをベースとした新たなV2X間リアルタイムコミュニケーションを提案する。

概要

- 将来の観光客向けMaaS車両を模した空間にボックスシートと前後横上に複数の大型ディスプレイ、横に透過型タッチパネルを設置。数人で占有した旅行を想定。
- 大型ディスプレイには実際に観光地に居るかのような立体的な映像や、別のMaaS車両や在宅の友人とまるで同じ場所で会話をしているかのようなビデオチャット映像を配信。これによって車内空間を拡張しているかのような体験ができる。

- ※1 Celler Vehicle to Xの略
モバイル通信を使用して車とあらゆるものをつなぐシステム概念のこと。
- ※2 Mobility as a serviceの略
移動するあらゆる手段や形態を包括的に単一のサービス(システム)として提供する新たな概念のこと。

